



# 2025年度 学修時間・学修行動実態調査 (全国学生調査含む)

分析対象者：2025年度 1～6学年の学生 763名

回答状況：医学部全学年 650/763名 (85.2%)

1学年 114/130名 (87.7%) 2学年 105/125名 (84.0%)

3学年 113/137名 (82.5%) 4学年 100/128名 (78.1%)

5学年 107/128名 (83.6%) 6学年 111/115名 (96.5%)

## 目次

### 【全国学生調査】

- 0. 調査概要・・・ p.1
- 1. 授業での学習経験・・・ p.2
- 2. 多様な学習機会・・・ p.3
- 3. 大学で身に付いた力・・・ p.3-5
- 4. 大学での学び・・・ p.5
- 5. 1週間の生活時間・・・ p.6

### 【関西医大調査項目】

- 6. 居住形態・・・ p.7
- 7. 通学時間・・・ p.7
- 8. 授業の出席状況・・・ p.7
- 9. 予習復習時間・・・ p.7
- 10. 勉学の困難・・・ p.8
- 11. 勉学困難の理由・・・ p.8-9
- 12. 勉学困難の解決・・・ p.9
- 13. 勉学困難の解決方法・・・ p.9
- 14. ボランティア活動・・・ p.10
- 15. アルバイト経験・・・ p.10
- 16. アルバイトの目的・・・ p.10-11
- 17. アルバイトの職種・・・ p.11
- 18. 睡眠時間・・・ p.12
- 19. 運動習慣・・・ p.12
- 20. 大学満足度・・・ p.12-13
- 21. DP達成度・・・ p.13-15
- 22. 将来の目標・・・ p.15
- 23. 専門領域の決定・・・ p.15
- 24. 希望する専門領域・・・ p.16
- 25. 専門領域の選択基準・・・ p.16
- 26. 希望する勤務地・・・ p.16

作成日：2026年 4月 15日

担当：教育センターIR部門

# 2025年度調査概要

## 各学年の調査対象者と調査実施時期

学年	対象 学生数	男女比 (%)		調査実施時期
		男性	女性	
1学年	130	66.9	33.1	2026年1月～2026年2月
2学年	125	50.4	49.6	2026年1月～2026年2月
3学年	137	54.0	46.0	2025年12月～2026年2月
4学年	128	63.3	36.7	2025年11月～2026年2月
5学年	128	57.0	43.0	2025年11月～2026年1月
6学年	115	54.8	45.2	2025年11月～2025年11月
全学年	763	57.8	42.2	2025年11月～2026年2月

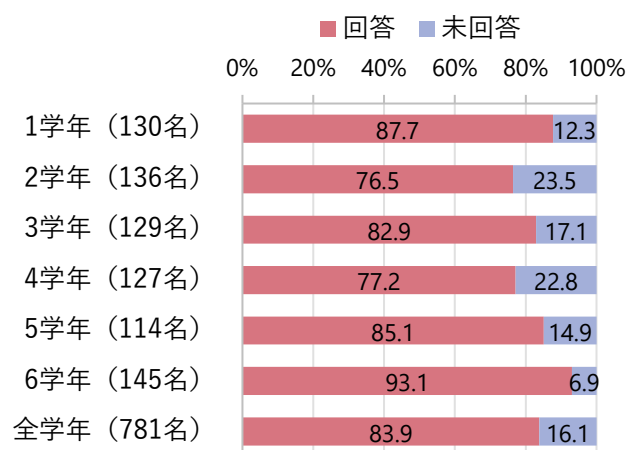
2020年度より全学年KMULAS上でweb調査を実施している。

調査時期は、各学年の進級判定に係る試験の実施時期を考慮して設定されているため、学年によって時期が若干異なる。

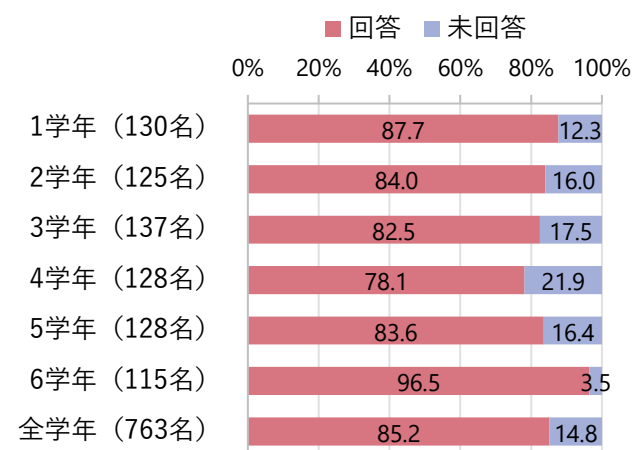
2025年度より全国の大学を対象とした文部科学省「全国学生調査」が本格実施となり、本学の学修実態調査に「全国学生調査」の項目も含めて調査を実施することになった。調査は前半が「全国学生調査」の項目、後半が本学独自の項目で構成されている。

## 各学年の調査回答状況

### ◆ 2024年度（参考）



### ◆ 2025年度（2025年11月～実施）



2024年度に比べて、2025年度は回答率が全体的にやや向上した。

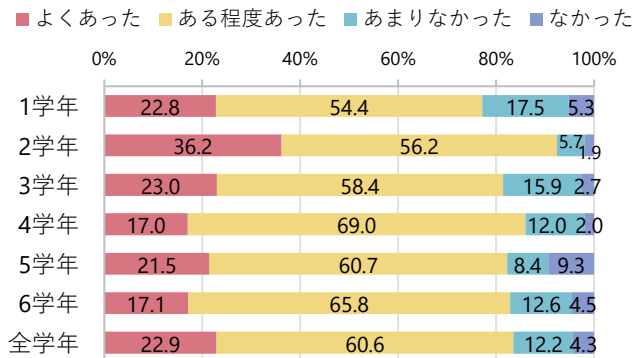
改めて、本調査にご協力くださり貴重な回答と意見を寄せてくださった学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

# 授業での学習経験

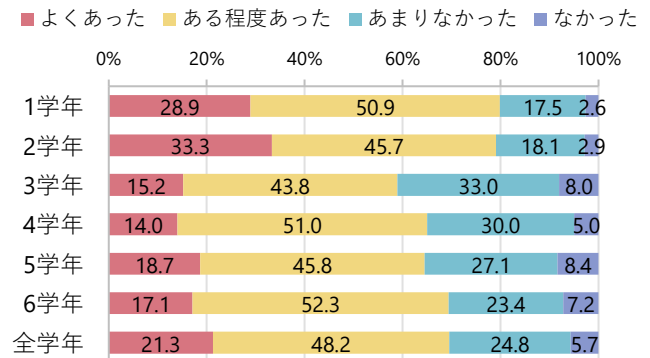
設問1～5 (p.2～6) は全国学生調査の質問項目であり、全国共通の質問項目となっている。全国学生調査は「学生の皆さん一人一人の学びの実態を把握し、大学教育を改善していく」ことを目的に文部科学省が実施する調査であり、結果は文部科学省のウェブサイトで公表される。

## 1. 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

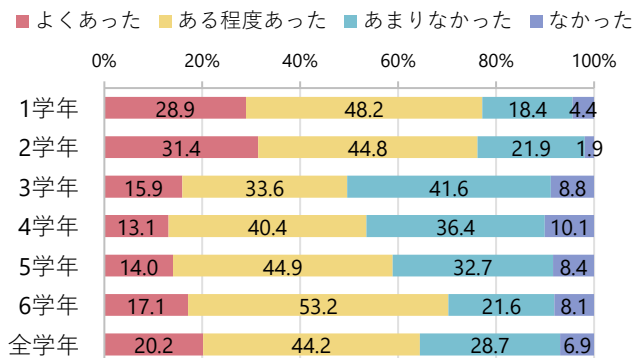
### 1) 理解がしやすいように教え方が工夫されていた



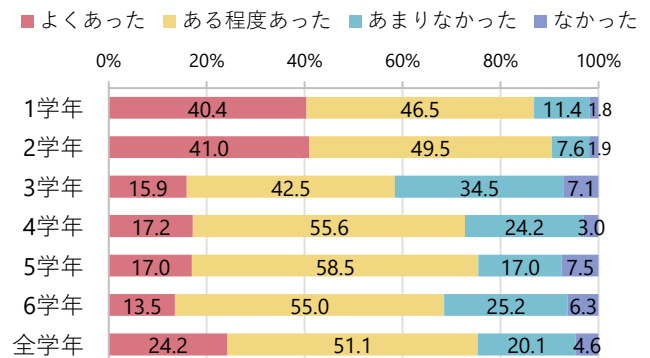
### 2) 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される



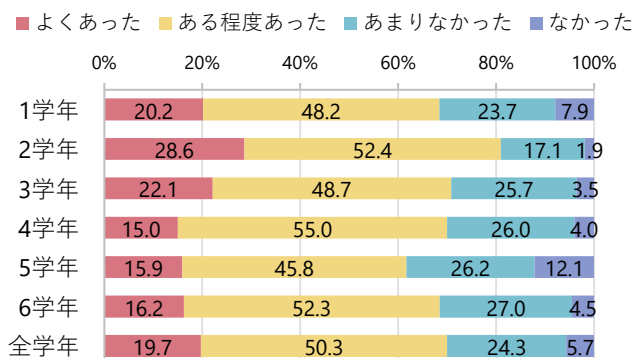
### 3) 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される



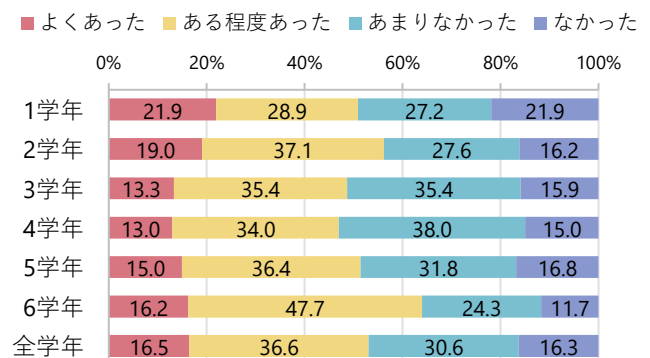
### 4) グループワークやディスカッションの機会がある



### 5) 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある



### 6) ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある

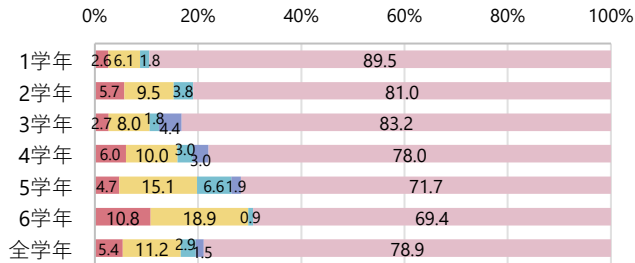


# 多様な学習機会、大学で身に付いた力

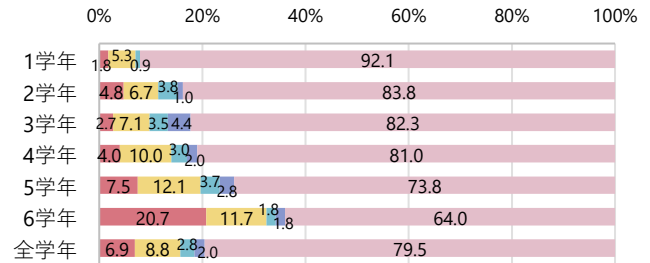
## 2. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。

■ 有用だった   
 ■ ある程度有用だった   
 ■ あまり有用ではなかった   
 ■ 有用ではなかった   
 ■ 経験していない

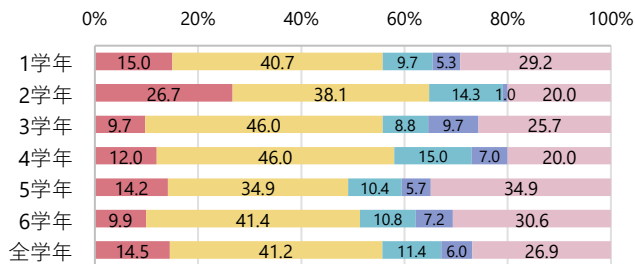
### 1) インターンシップ（5日間以上）



### 2) 海外留学・海外研修（短期も含む）



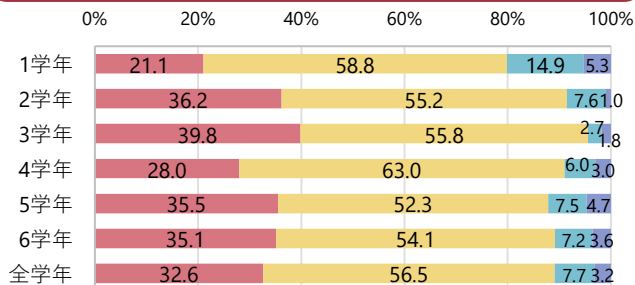
### 3) 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



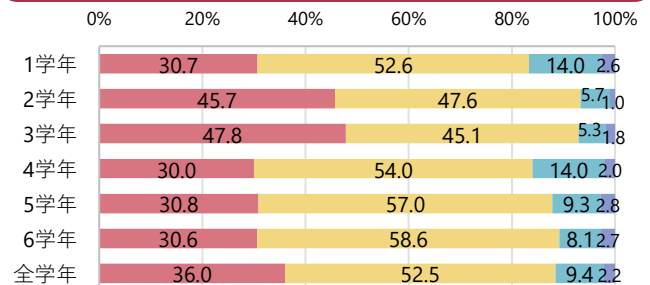
## 3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

■ 身に付いた   
 ■ ある程度身に付いた   
 ■ あまり身に付いていない   
 ■ 身に付いていない

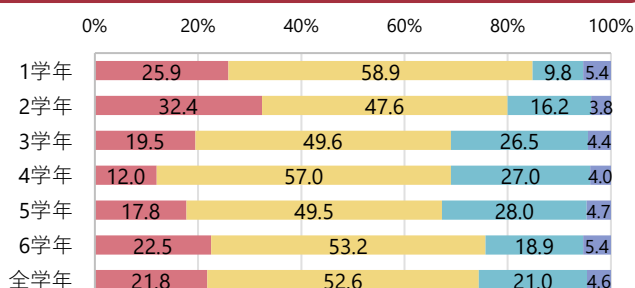
### 1) 専門分野に関する知識・理解



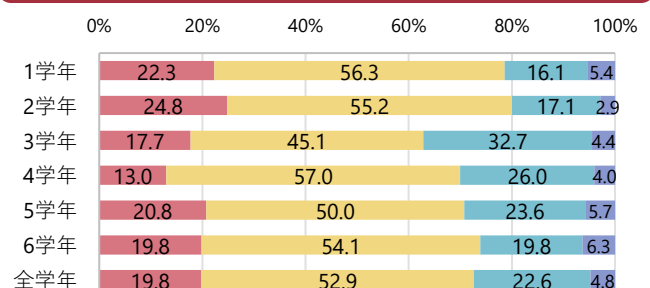
### 2) 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



### 3) 文献・資料を収集・分析する力



### 4) 論理的に文章を書く力

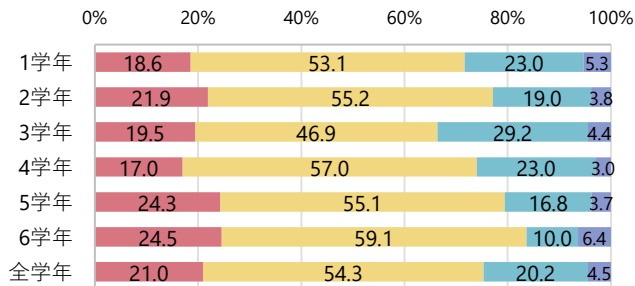


# 大学で身に付いた力

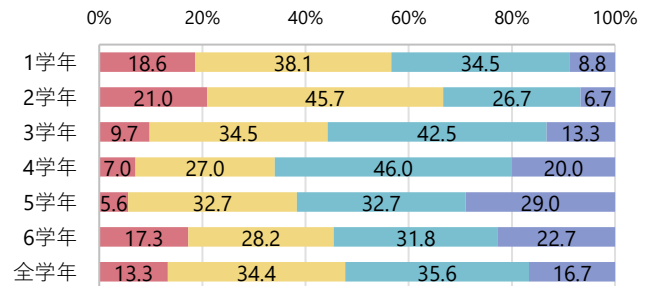
## 3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

■ 身に付いた      ■ ある程度身に付いた      ■ あまり身に付いていない      ■ 身に付いていない

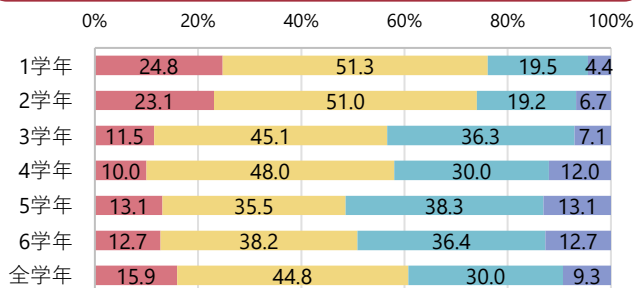
### 5) 人に分かりやすく話す力



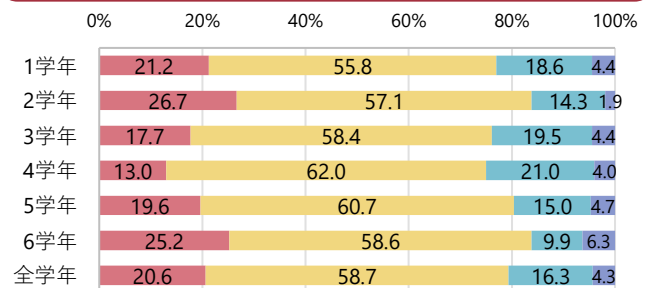
### 6) 外国語を使う力



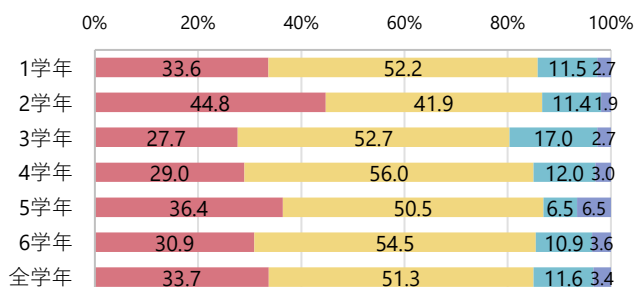
### 7) 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



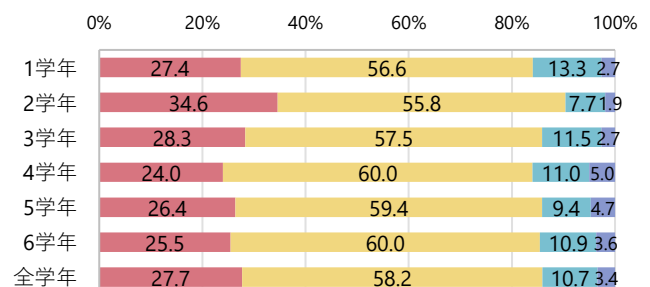
### 8) 問題を見つけて解決方法を考える力



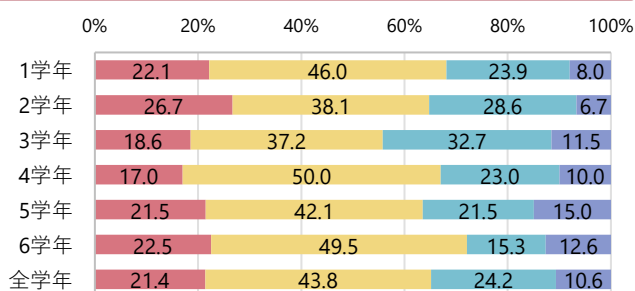
### 9) 他者と協働する力



### 10) 幅広い知識、ものの見方



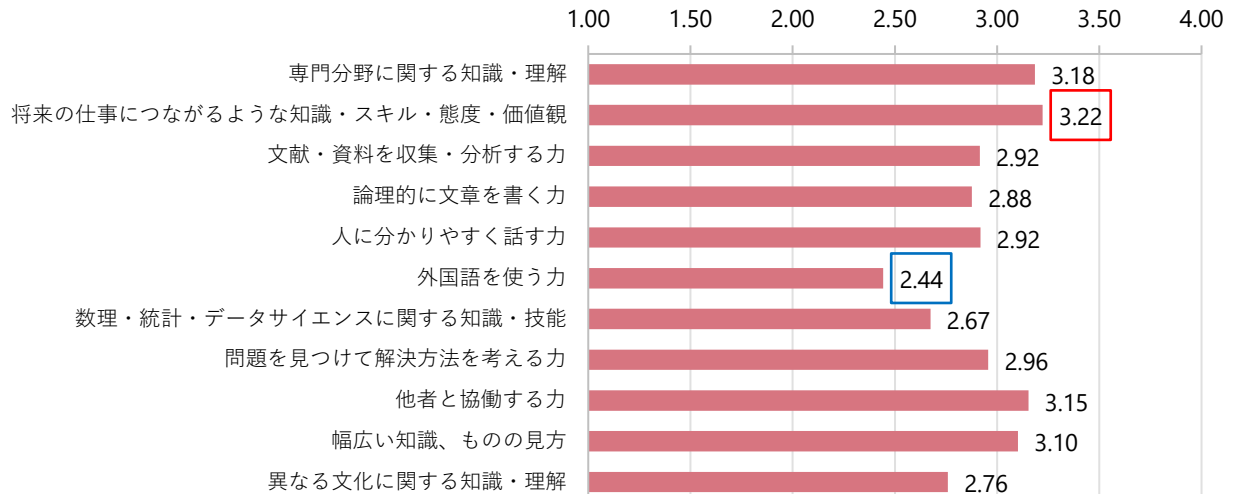
### 11) 異なる文化に関する知識・理解



# 大学で身に付いた力、大学での学び

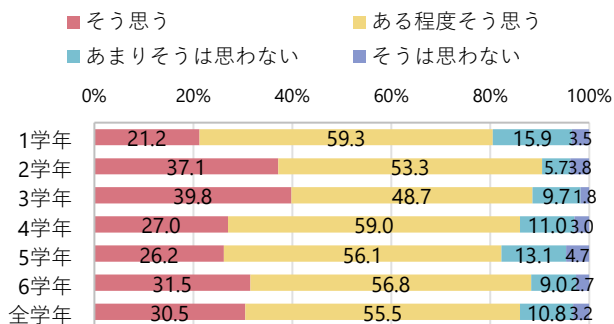
## 3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

「身に付いた」=4、「ある程度身に付いた」=3、「あまり身に付いていない」=2、「身に付いていない」=1と得点換算をした時の全学年の平均値を算出してグラフで示す。

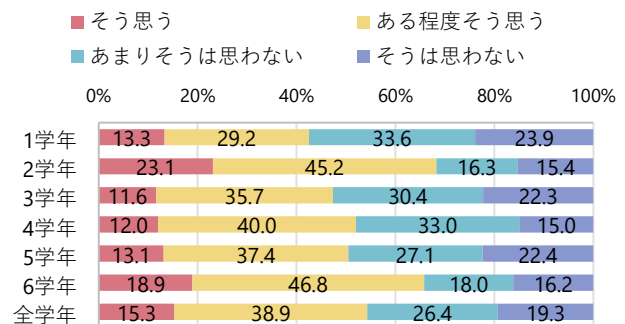


## 4. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

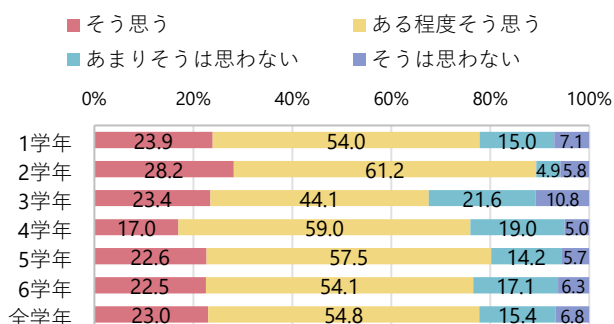
### 1) 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している



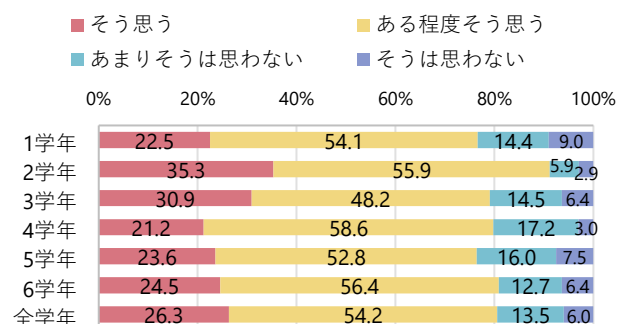
### 2) 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている



### 3) 教職員が熱心に教育に取り組んでいる



### 4) 大学の学びによって成長を実感している

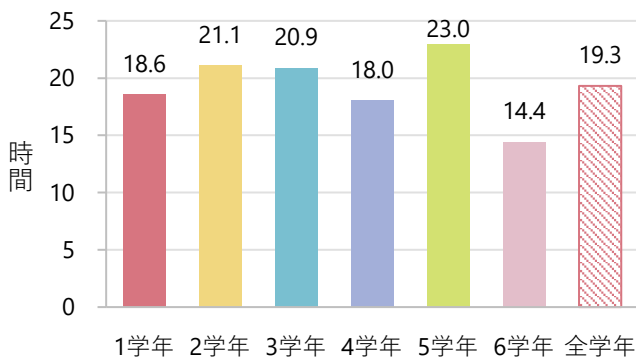


# 1週間の生活時間

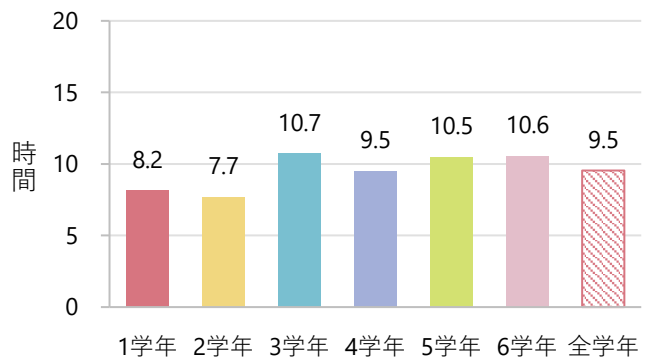
5. 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

「0時間」=0時間、「1-5時間」=3時間、「6-10時間」=8時間、「11-15時間」=13時間、「16-20時間」=18時間、「21-30時間」=25.5時間、「31時間以上」=31時間と換算して平均値を算出

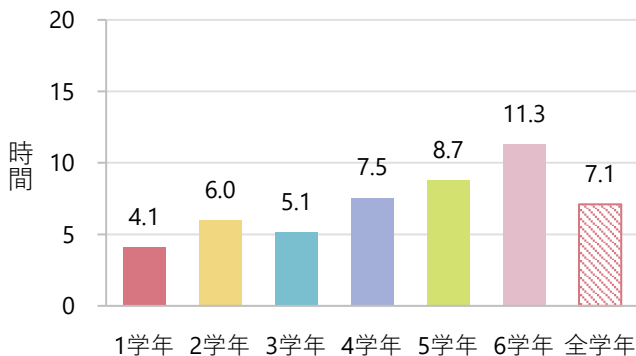
## 1) 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



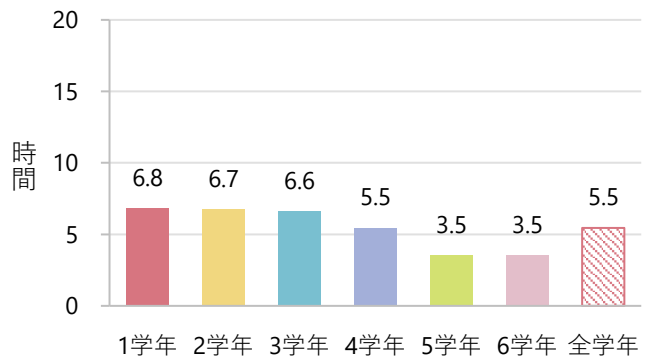
## 2) 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）※1



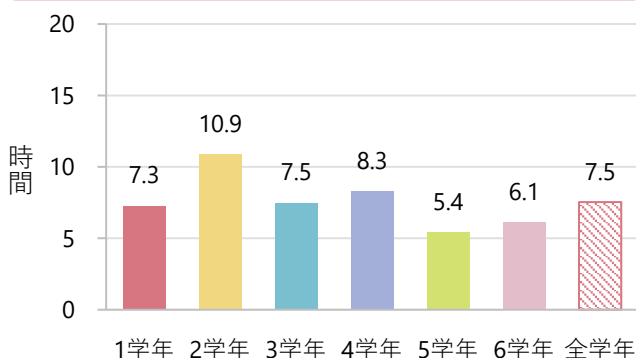
## 3) 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）



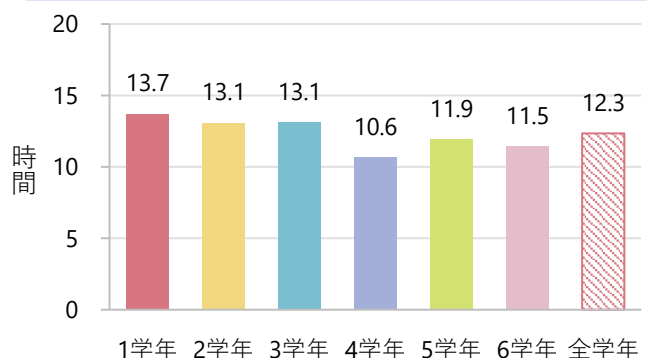
## 4) 部活動／サークル活動



## 5) アルバイト／定職



## 6) インターネット／ゲーム（動画視聴、SNS、アプリを含む。ただし学習のための利用時間は除く）※2



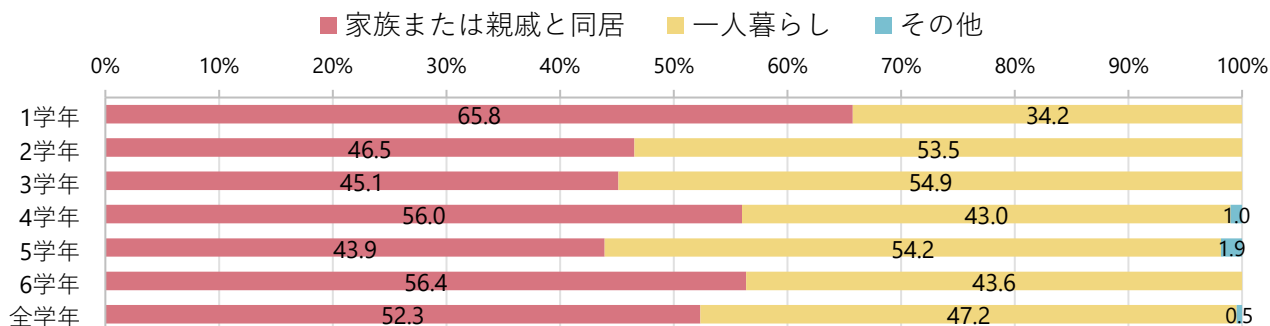
※1) 全国学生調査では「卒業論文・卒業研究・卒業制作」の設問があるが、6学年のみの設問のためここでは割愛。

※2) 「インターネット／ゲーム」は全国学生調査の項目でなく、本学独自項目。

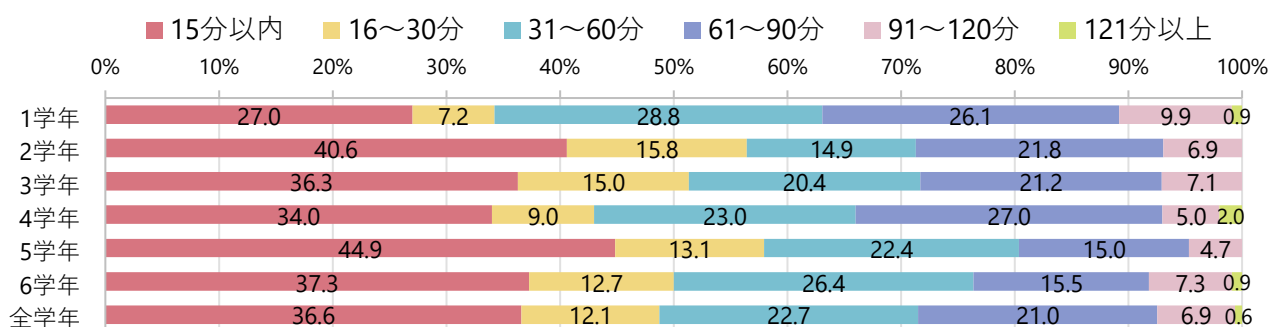
# 居住形態、通学時間、出席状況、予復習時間

ここからは関西医科大学独自の調査項目の集計結果を示す。

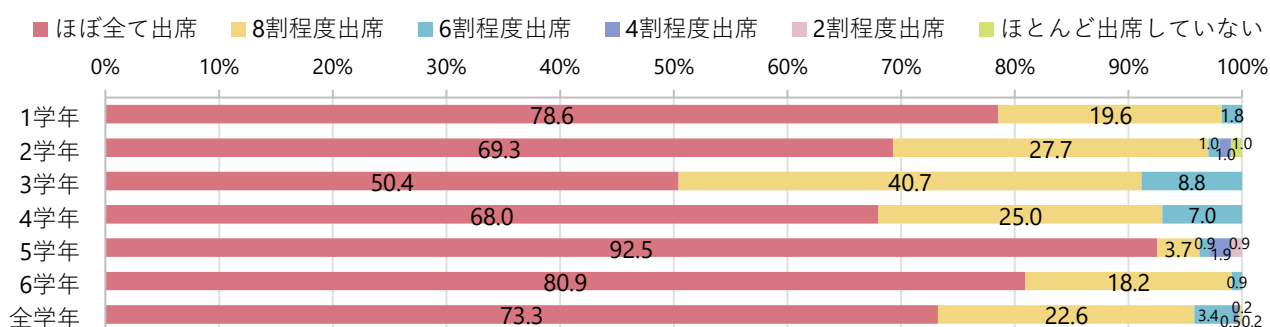
## 6. 現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。



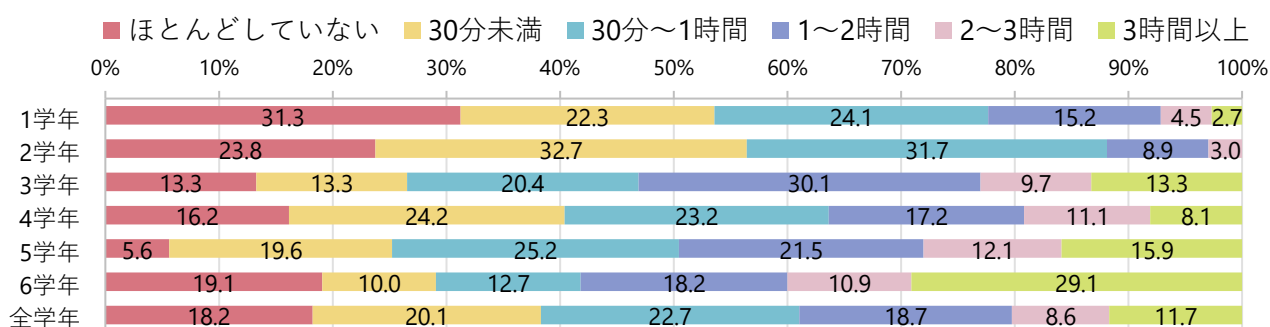
## 7. 大学への通学時間（片道）について、あてはまるもの1つをお選びください。



## 8. 授業への出席状況について、以下の選択肢からご回答ください。

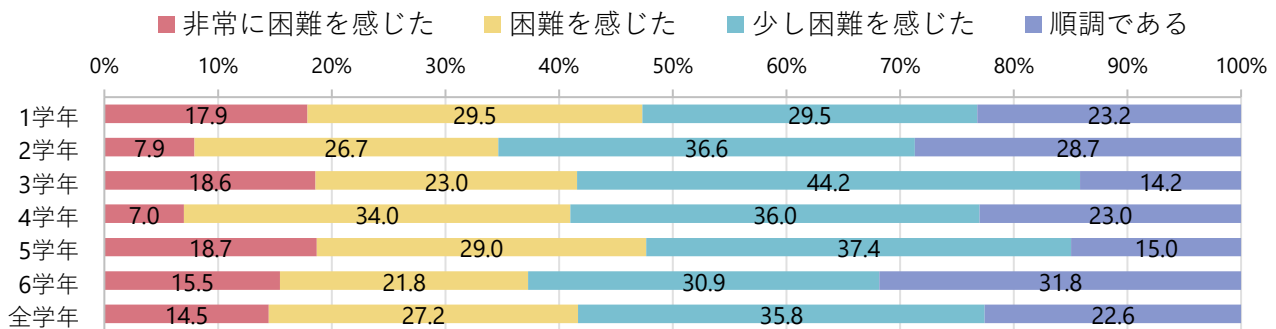


## 9. 平日の1日の授業外学習時間（予習・復習など）について、以下の選択肢からご回答ください。



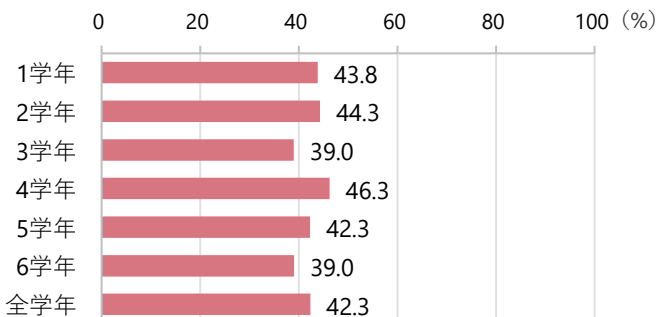
# 勉学の困難、勉学困難の理由

## 10. 大学入学以降、勉学に関してどの程度困難を感じましたか。

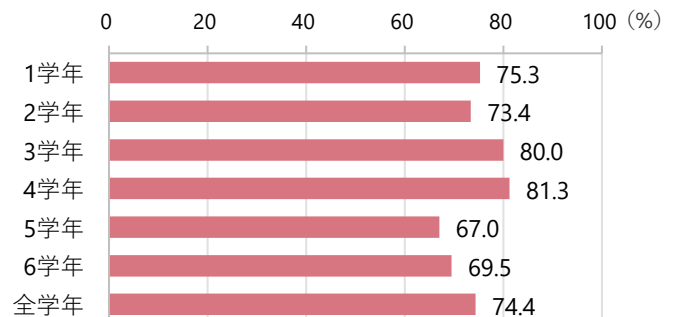


## 11. 少しでも困難を感じた人は、その理由をどう考えていますか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】

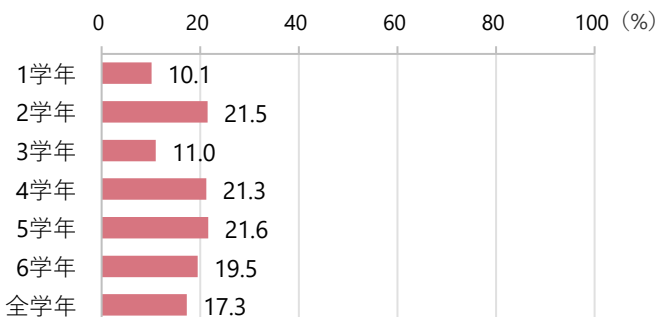
### 学修する内容が難しい



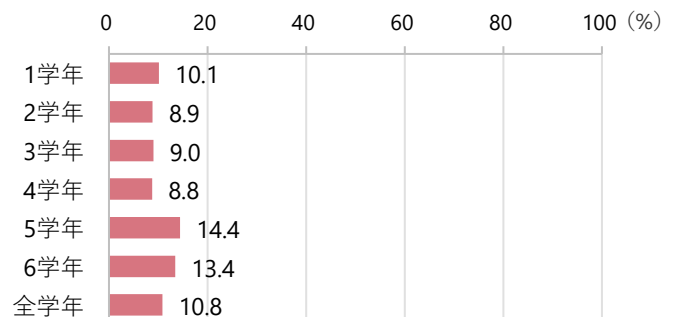
### 学修量が多い



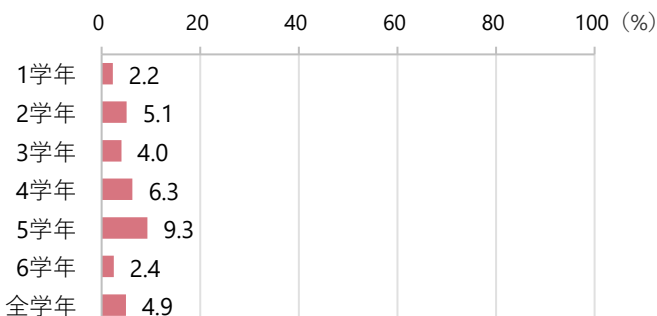
### 自主的な勉強スタイルへの移行が困難



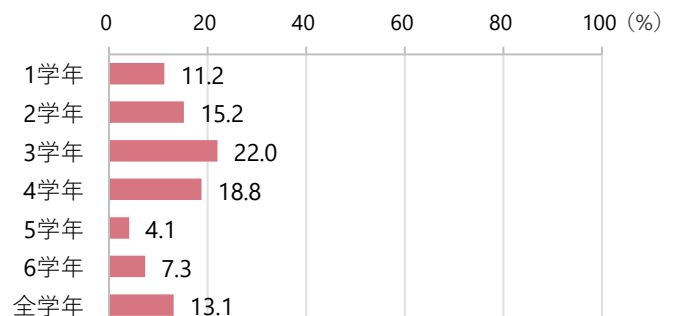
### 教員からのサポートが不十分



### 勉強しない友人に流される



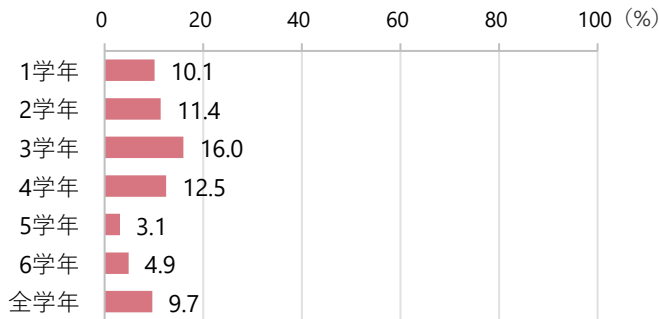
### クラブ・サークル活動が忙しい



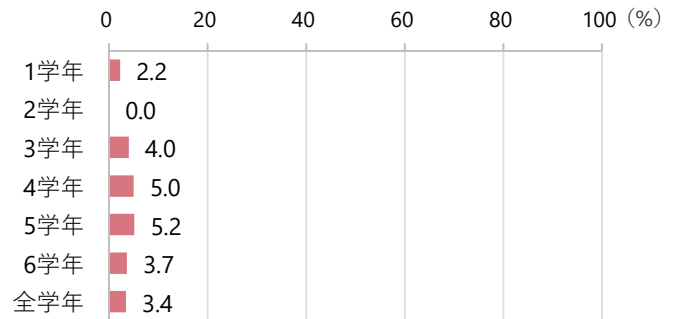
# 勉学困難の理由、困難の解決、解決方法

11. 少しでも困難を感じた人は、その理由をどう考えていますか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】

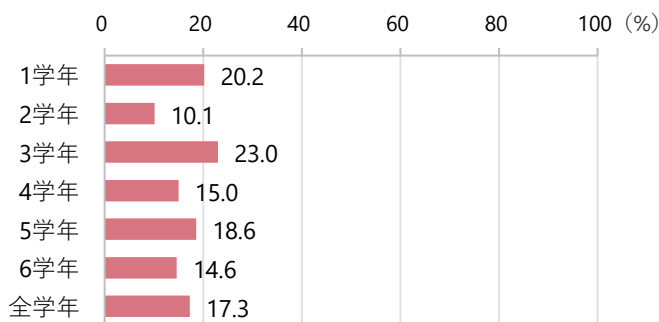
アルバイトが忙しい



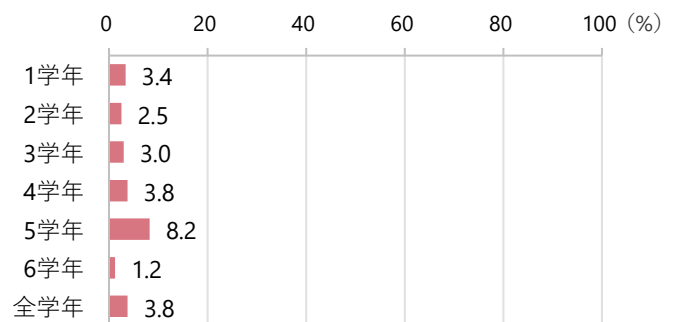
人間関係が構築できず勉強に集中できない



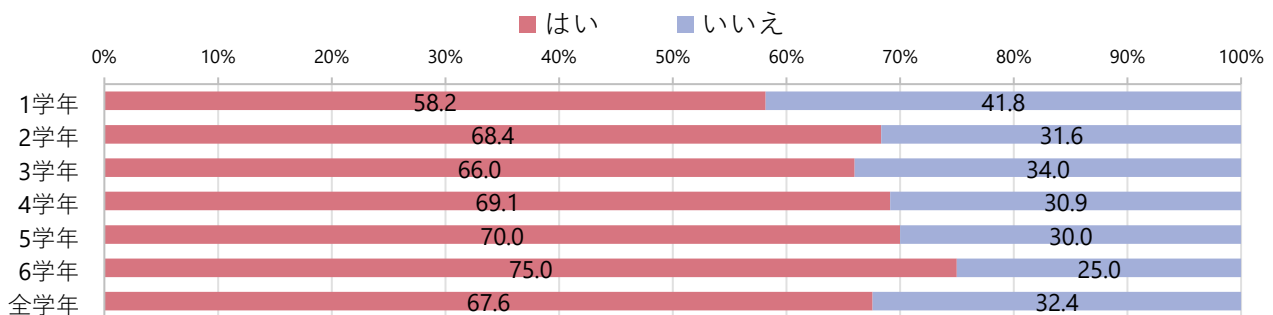
生活リズムの乱れ



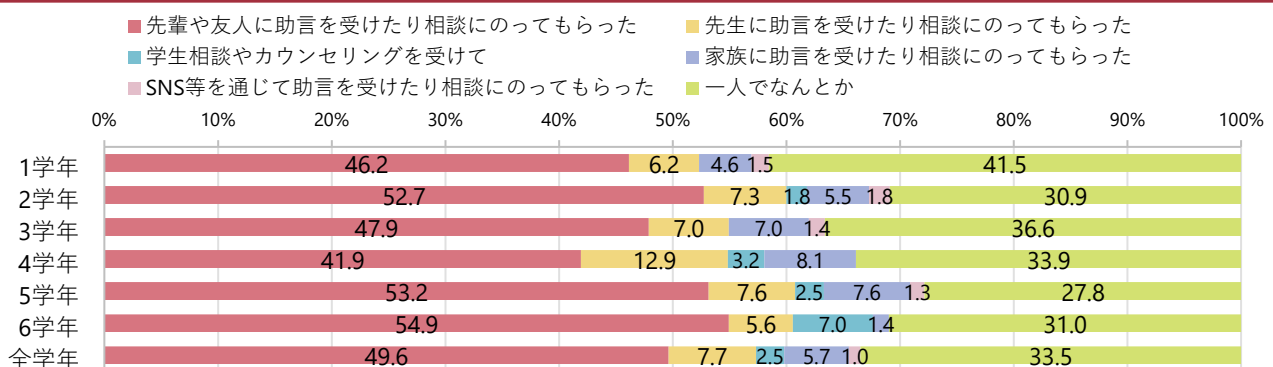
その他



12. 少しでも困難を感じた人は、その困難を克服できましたか。

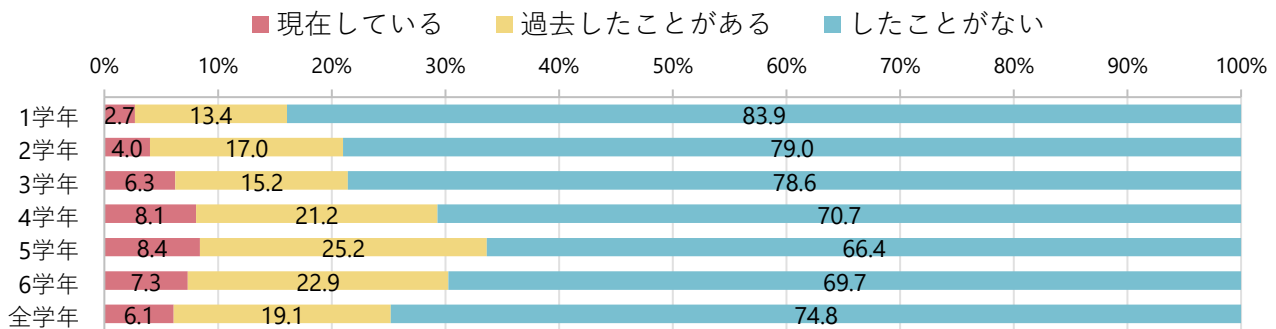


13. 克服できた人は、どのようにして克服できましたか。(前問で「はい」と回答した人のみ)

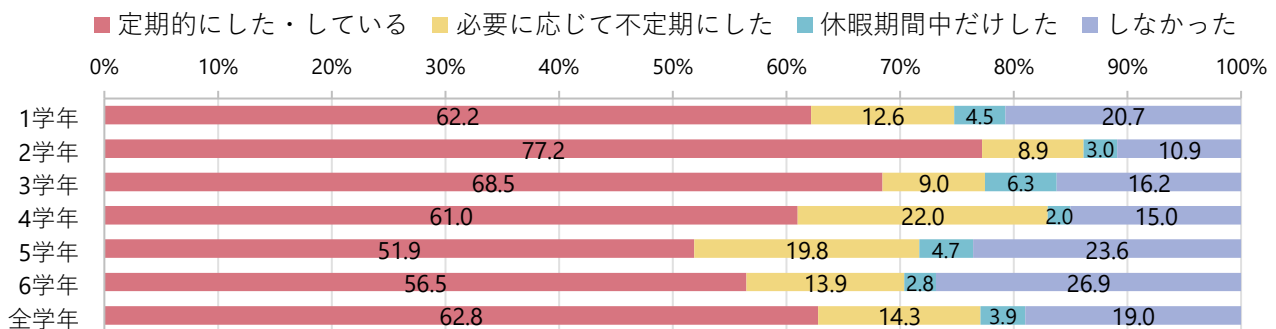


# ボランティア活動、アルバイト経験と目的

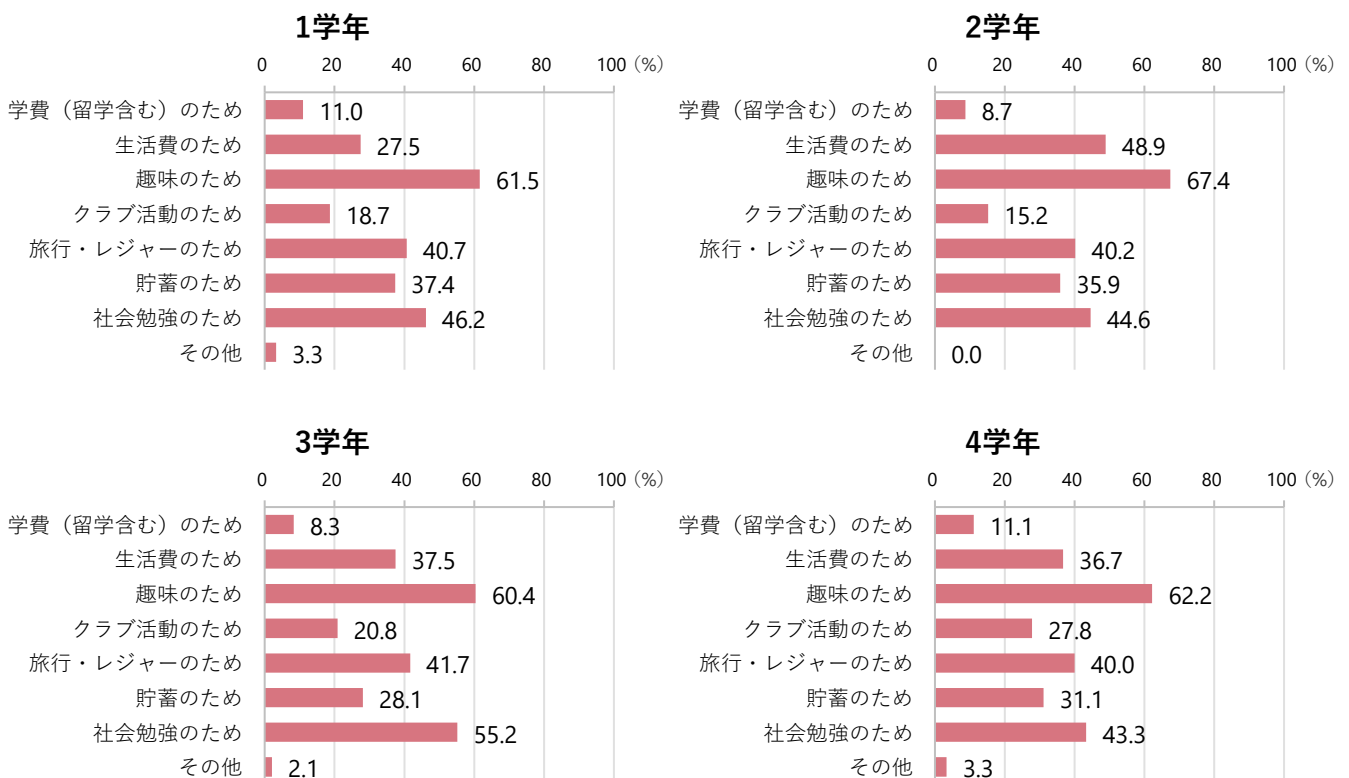
14. あなたは大学に入学してからボランティア活動をしたことがありますか。



15. あなたはこの1年間で（1回生は大学入学以降）アルバイトをしたことがありますか。

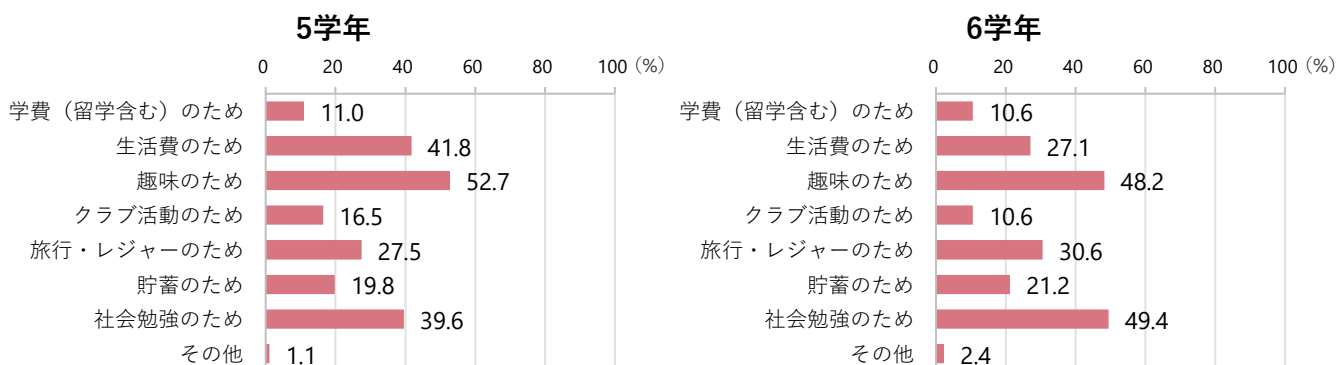


16. アルバイト経験のある人は、目的は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。  
【複数選択可】

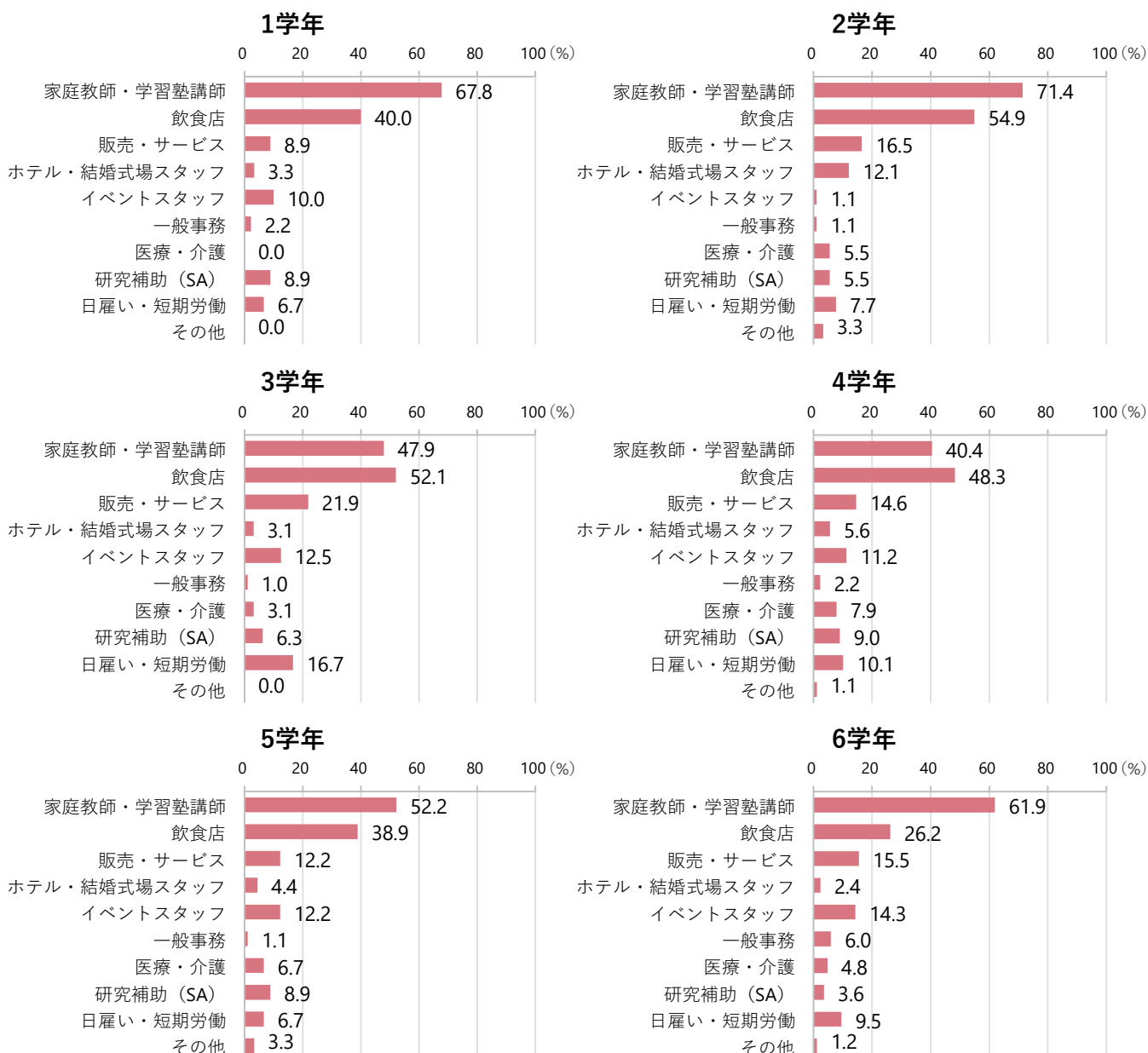


# アルバイトの目的、アルバイトの職種

16. アルバイト経験のある人は、目的は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】

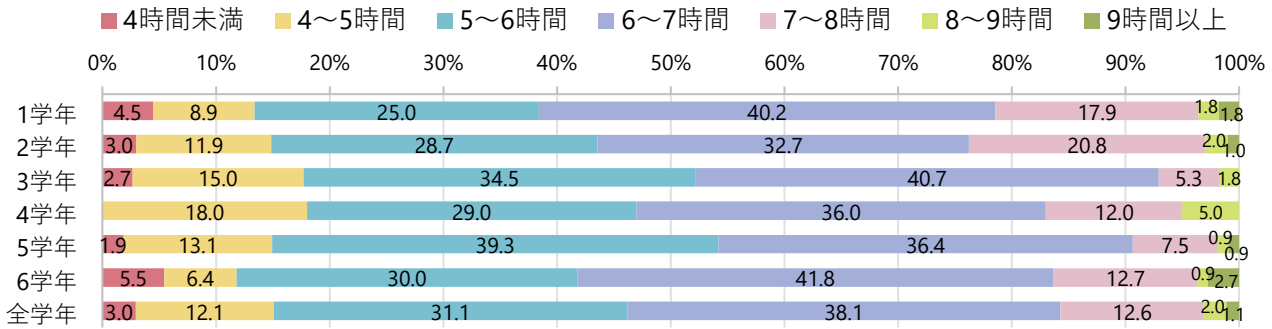


17. この1年間でアルバイト経験のある人はその職種をお答えください。【複数選択可】

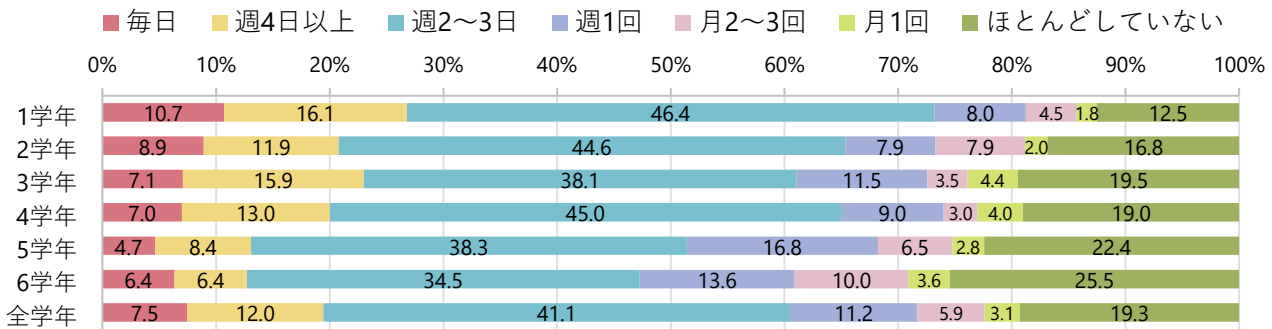


# 睡眠時間、運動習慣、大学満足度

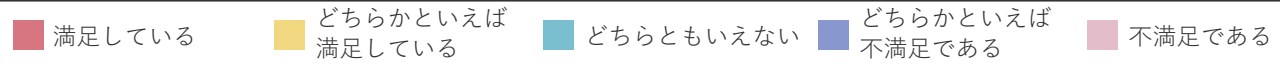
18. 平日の平均的な睡眠時間をお答えください。



19. 1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。

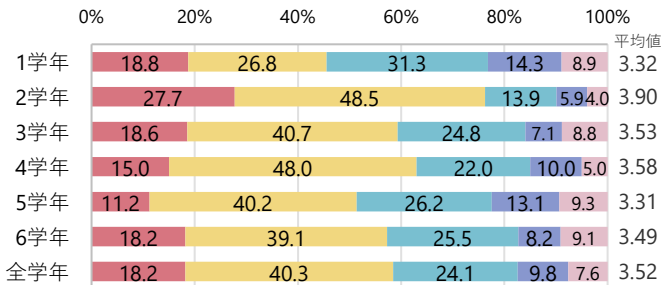


20. 大学生活・大学教育にどのくらい満足していますか。各項目に対する満足度をご回答ください。

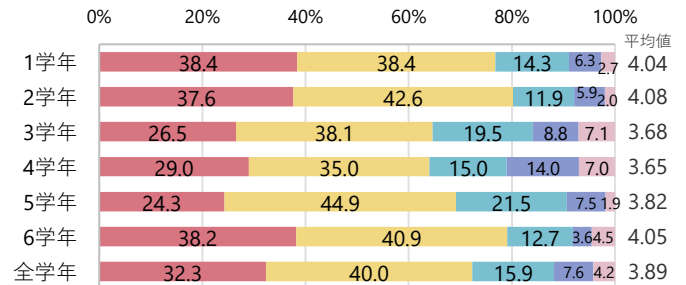


※グラフ右の「平均値」は、満足している=5～不満足である=1と得点換算をした時の満足度の平均値を示す。中点は3.

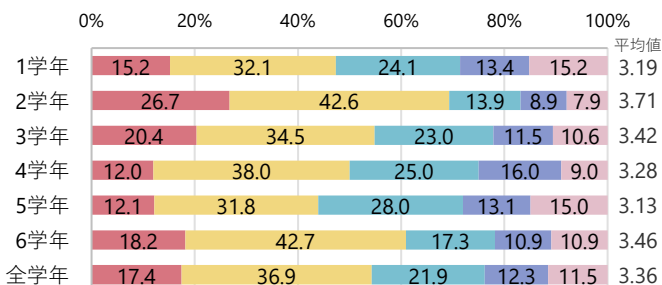
## 1) 大学教育全体



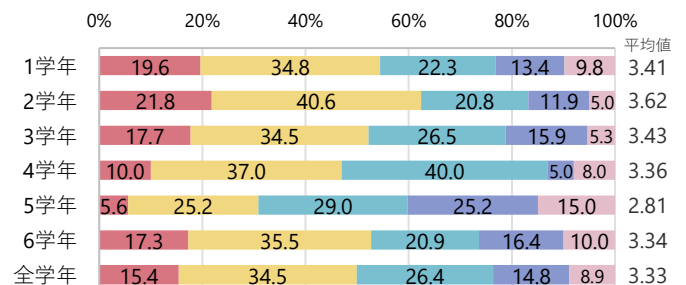
## 2) 施設・設備



## 3) 授業・教育システム (教育内容やカリキュラムなど)



## 4) 試験 (内容や実施時期など)



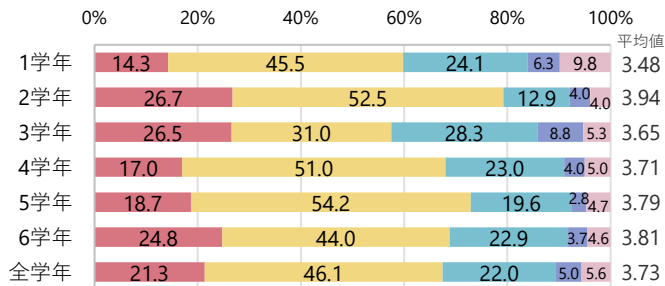
# 大学満足度、DP達成度

20. 大学生活・大学教育にどのくらい満足していますか。各項目に対する満足度をご回答ください。

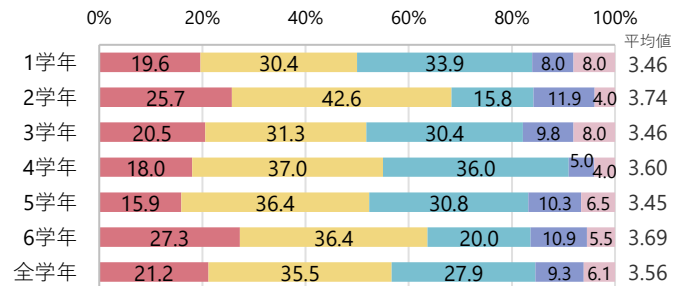
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば不満足である ■ 不満足である

※グラフ右の「平均値」は、満足している=5～不満足である=1と得点換算をした時の満足度の平均値を示す。中点は3.

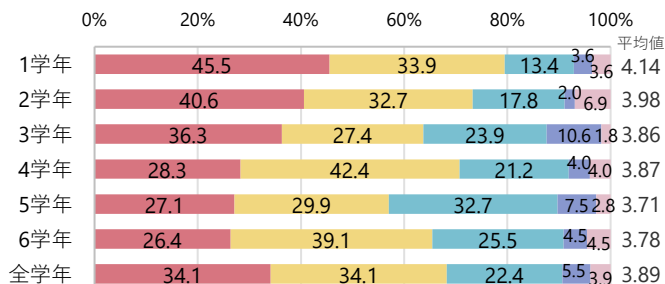
## 5) 教員（専門性の高さや良い影響を受けるなど）



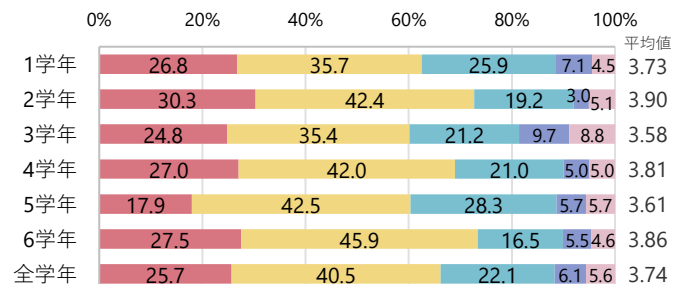
## 6) 相談・支援の体制



## 7) クラブ・サークル活動



## 8) ICT学修環境（KMULAS、Teamsなど）

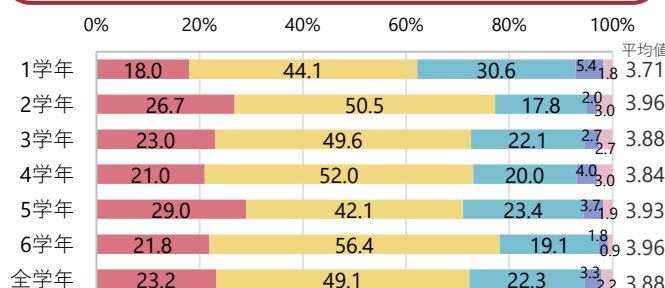


21. 関西医科大学医学部では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。

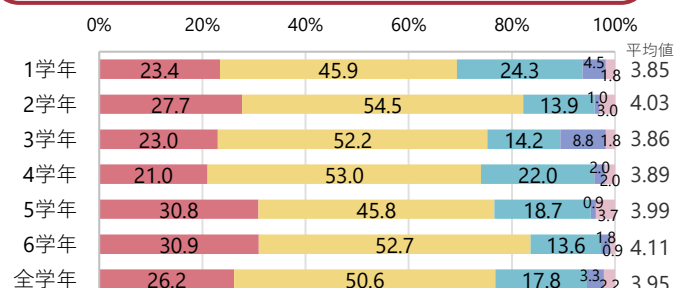
■ 達成できた ■ ある程度達成できた ■ どちらともいえない ■ あまり達成できていない ■ 達成できていない

※グラフ右の「平均値」は、達成できた=5～達成できていない=1と得点換算をした時のDP達成度の平均値を示す。中点は3.

## 1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける

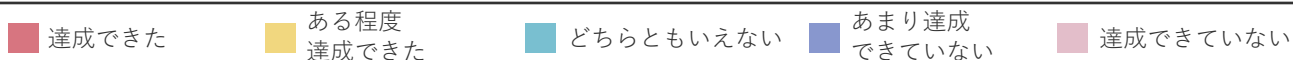


## 2) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる



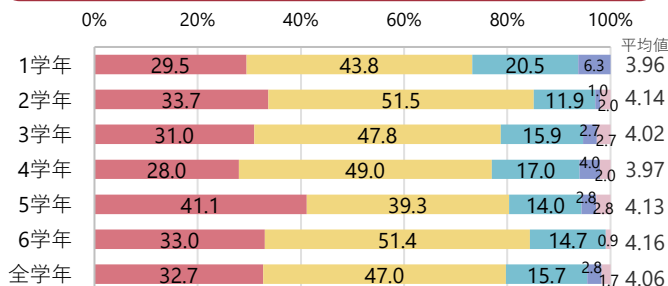
# DP達成度

21. 関西医科大学医学部では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。

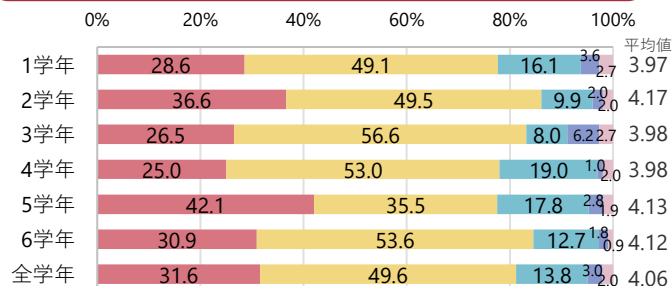


※グラフ右の「平均値」は、達成できた=5～達成できていない=1と得点換算をした時のDP達成度の平均値を示す。中点は3.

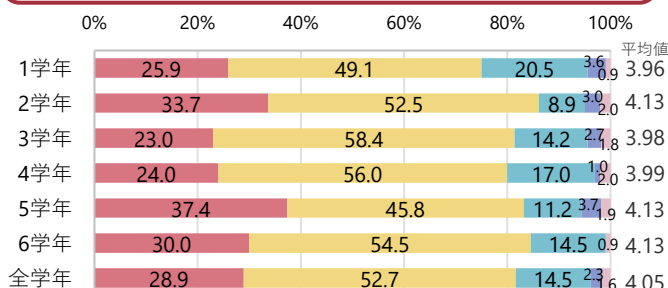
## 3) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる



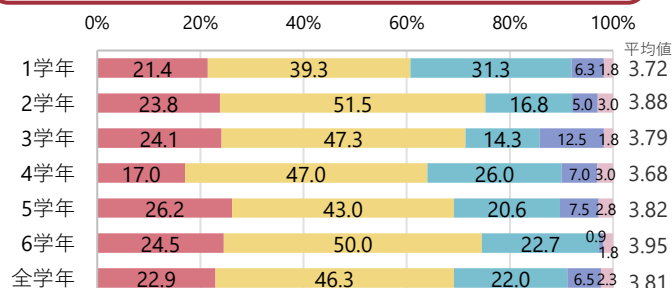
## 4) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる



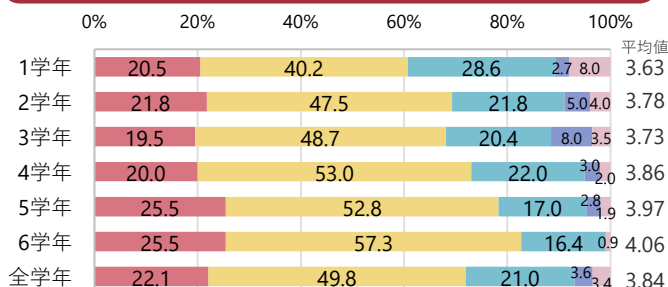
## 5) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける



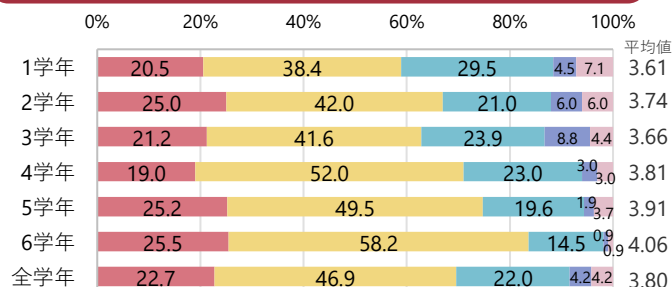
## 6) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する



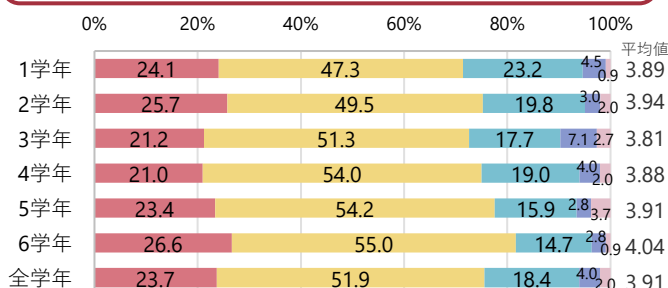
## 7) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を實踐できる



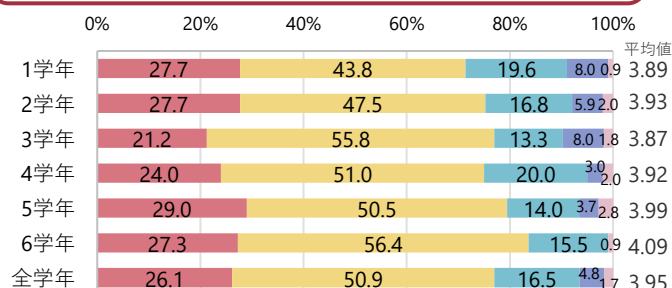
## 8) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する



## 9) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる



## 10) 自己主導型学習を實踐し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける



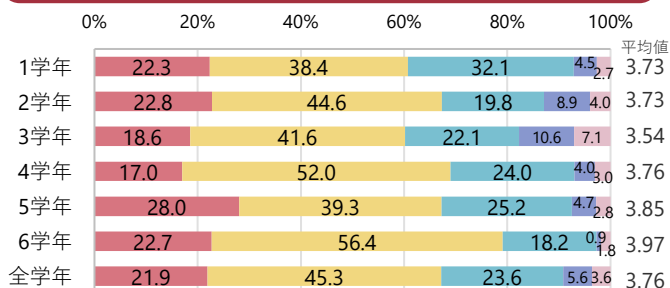
# DP達成度、将来の目標、専門領域の決定

21. 関西医科大学医学部では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。

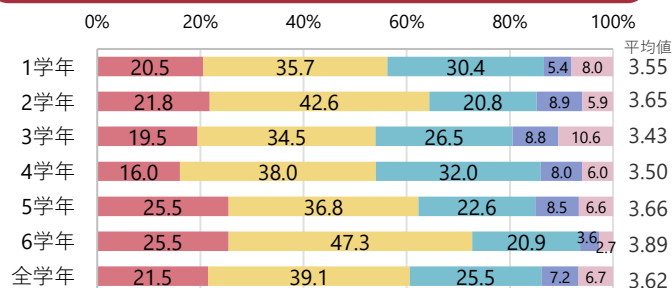
■ 達成できた    
 ■ ある程度達成できた    
 ■ どちらともいえない    
 ■ あまり達成できていない    
 ■ 達成できていない

※グラフ右の「平均値」は、達成できた=5～達成できていない=1と得点換算をした時のDP達成度の平均値を示す。中点は3.

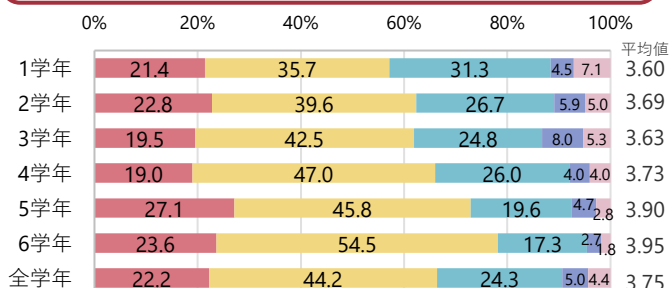
## 11) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる



## 12) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる



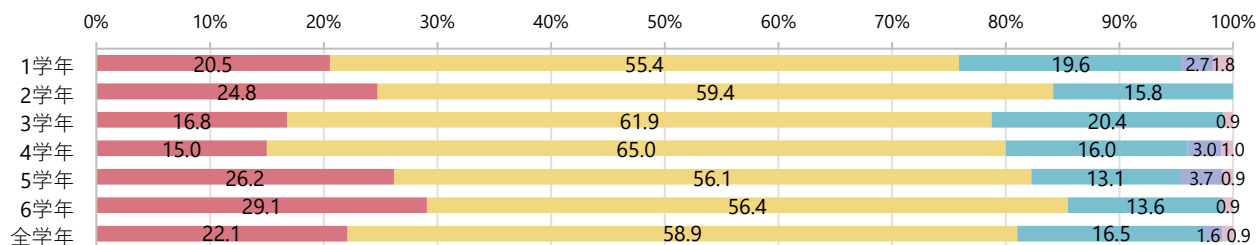
## 13) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる



ここからは大学卒業後の将来のキャリアや働き方についてお答えください。

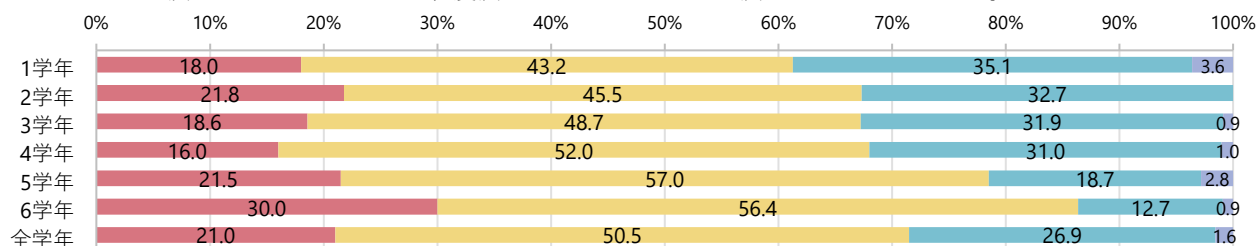
22. 医師・医学者としての将来の目標や展望を持っていますか。

■ 明確に持っている    
 ■ ある程度持っている    
 ■ あまり持っていない    
 ■ 全く持っていない    
 ■ 医師以外のキャリアを考えている



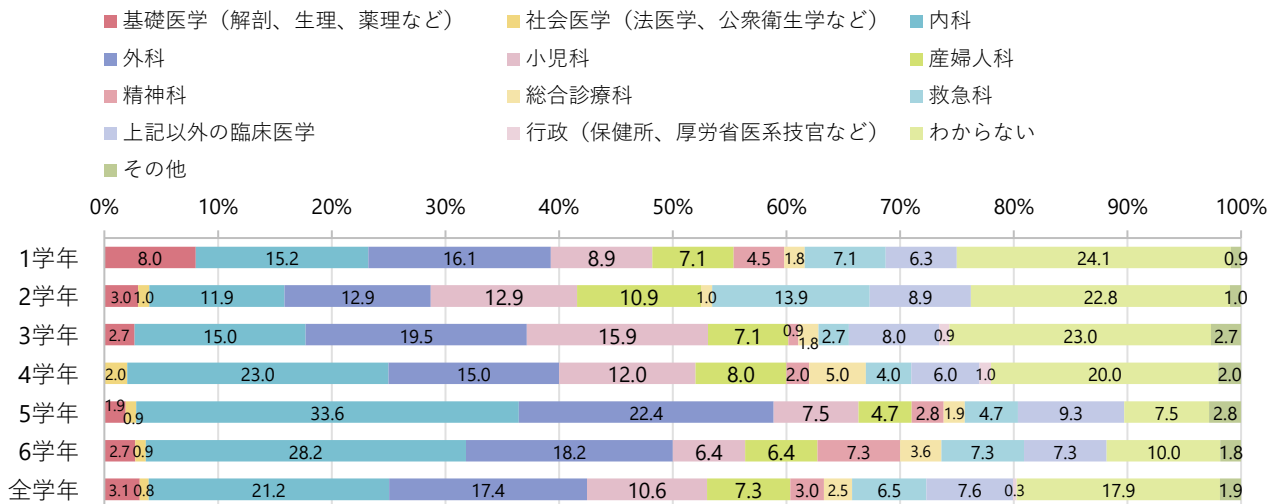
23. 将来専門にしたい領域・診療科は決まっていますか。

■ 決めている    
 ■ ある程度決めている    
 ■ まだ決めていない    
 ■ 考えたことがない

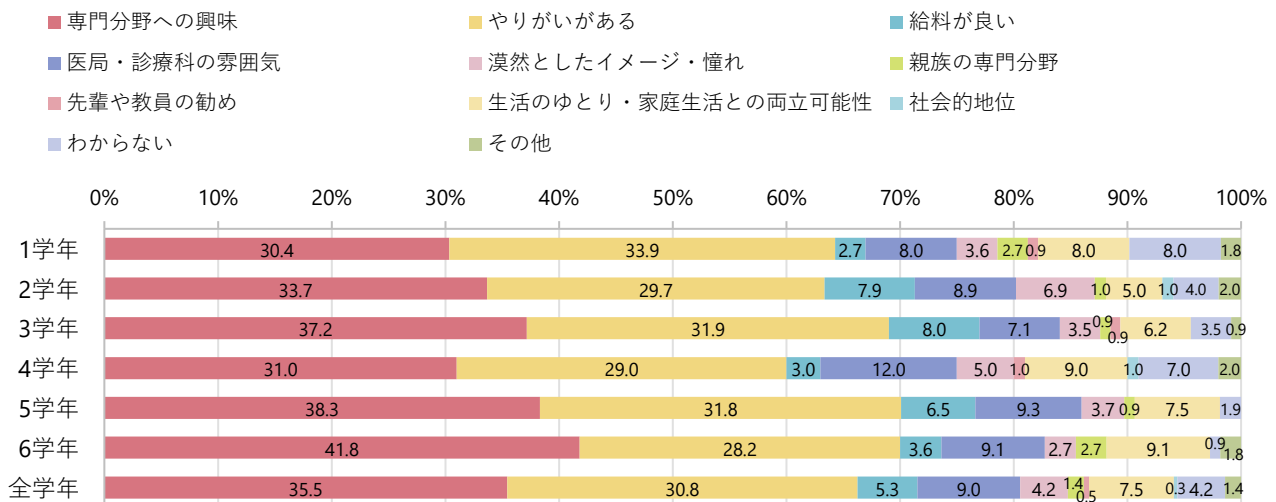


# 希望する専門領域、選択基準、希望勤務地

## 24. 将来どの領域を専門にしたいと考えていますか。



## 25. 将来専門とする領域や診療科を選ぶときに、どのようなことを重視しますか。以下の選択肢から最も重視するものを1つ選んでご回答ください。



## 26. 将来希望する勤務地はありますか。

